



# 大学院だより

## 令和元年度 大学院 Elective Study



深澤俊也先生の報告会発表

國奥有希先生の報告会発表

今年度の大学院 Elective Study は、歯周病学講座3年次深澤俊也先生（令和元年9月7日～9月16日アメリカ合衆国カリフォルニア州滞在）と口腔健康科学講座障害者歯科・口腔顔面痛研究室2年次國奥有希先生（令和元年9月7日～9月16日アメリカ合衆国カリフォルニア州滞在）が参加されました。

その研修内容を発表する報告会が、令和2年2月7日に行われました（上記写真）。両者とも、充実した研修の様子を発表されました。以下は、その研修報告の概要です。

## 2019年度 大学院 Elective Study 報告

歯周病学講座 大学院3年

深澤俊也

2019年度「Elective Study」の一貫としてカリフォルニア・イノベーション研修コースに参加する機会を得たので研修内容を報告する。

### 1) 研修プログラム概要

プログラム名：カリフォルニア・イノベーション研修

主催：US—JAPAN FORUM

期間：2019/9/7—2019/9/16

参加者：5大学15名(学部学生12名、大学院生3名)

新潟大学，東京歯科大学，豊橋技術科学大学，大阪大学，岡山大学

### 2) 研修スケジュール

9/7 (土)：サンフランシスコ空港着、オリエンテーション

9/8 (日)：オリエンテーション、英語研修、

講演会 (シリコンバレーでの起業；US-Japan Forum 井手祐二氏)

9/9 (月)：サンノゼ州立大学訪問(キャンパス見学，学生交流)

NeuroSky 社訪問

講演会 日米技術イノベーションの融合 (US-Japan Forum 井手祐二

氏)

講演会 日系移民講演(内田誠一郎氏)

9/10 (火)：Intel Museum 訪問

Google 社訪問

Apple 社訪問

JBC (Japan Bio Community) セッション

9/11 (水)：日本の歴史を学ぶ (ゴールドゲートブリッジ，リンカンパーク，戦争記念オペラハウス，ユニオンスクエア)

カリフォルニア大学バークレー校訪問(キャンパス見学，工学部研究室訪問，学生交流会)

9/12 (木)：スタンフォード大学訪問 (キャンパス見学，医学部，法学部研究室訪問)

日本プロフェSSIONナルによるパネルセッション

9/13 (金)：日米未来フォーラム参加・発表

テーマ：The Future of Space Exploration

～50<sup>th</sup> Anniversary of the Moon Landing～

9/14（土）：イノベーション研修 修了式

9/15（日）：サンフランシスコ空港発

### 3) 日米未来フォーラムについて

今回で14回目となる、日米未来フォーラムが開催された。本フォーラムの目的は、次世代を担う日本とアメリカの若者を対象に、両国の新しい関係を考えることであった。今年、未来に向けて20代の我々が、何をすれば宇宙開発の躍進につながるか、という問いに対して「宇宙開発の将来」というテーマが掲げられた。技術開発、社会の進化、国際協力、産業創出の4つのテーマについてグループに分かれ、Elective Study参加者とSan Jose State Universityの学生とのディスカッションをもとに、共同で発表が行われた。

### 4) 研修を終えて

今回の研修では、様々なバックグラウンドを持った方々のお話を伺うことで、新たな視野が広がり、考えが変わった点がいくつかある。そのひとつが、“人脈（コネクション）”に対するイメージである。これまで、漠然とコネクションが大切だと感じ、学部学生時代から部活動や課外活動には積極的に参加してきていたつもりであった。ただそれは、交友関係を広くしていくだけのものだった。しかし今回、コネクションを広げることで新たなビジネスチャンスをつかみ成功した方や、自分の人生の目標を見つけた方などのお話を聞くことが出来た。本研修では、高い向上心を持つ企業家や研究者、大学生との交流に加え、日本から研修に参加した他分野を専攻する学生とのコネクションを持つことが出来た。私も今回広がったコネクションを、自分のステップアップに繋げられようとしていこうと考えている。帰国してからも、新たなコネクションを求め、ボランティアに参加している。さらに臨床や研究においても、他科や研究分野の異なった先生方と治療・研究計画についてディスカッションし、視野の広い歯科医師になれるよう努めていこうと考えている。

その一方で、再認識することも多くあった。最も強く感じたことが、自ら質問することの重要性である。それは大きな会場における講演であっても、個人的な会話の中でも同じである。質問をすることは、自分の理解を相手に伝え、相手の意図することが探求でき、お互いの理解をさらに深めることになる。さらに、講演内容や話し相手に対し本当に興味を持っているという意志を示すことができる。日米未来フォーラムでは、なれない英語でのプレゼンテーションに大きな不安を抱いていた。しかし、発表終了時には多くの質問をしてもらえた経験から、英語や発表内容に少し自信を持つことが出来た。

最後に、このような貴重な研修への参加の機会を与えてくださいました井出吉信学長，櫻井 薫前大学院研究科長，矢島安朝大学院研究科長，齋藤 淳大学院教務部長，福田謙一大学院学生部長，ならびにご指導いただいた US-JAPAN FORUM の井手祐二代表に御礼申し上げます。また，大学院関係の皆様，不在中ご迷惑をおかけしました講座および保存科の皆様にご心より感謝いたします。



スタンフォード大学にて研修参加者と



日米未来フォーラムでのプレゼンテーション



Google 社にて本研修主催井手裕二氏と同大学國奥有希と

## 2019 年度 大学院 Elective Study 報告

口腔健康科学講座 障害者歯科 顎顔面痛研究室  
國奥有希

2019 年度「Elective Study」の一貫としてカリフォルニア・イノベーション研修コースに参加させて頂いたのでご報告を申し上げます。

### 1)研修プログラム概要

プログラム名:カリフォルニア・イノベーション研修

主 催:US—JAPAN FORUM

期 間:2019/9/7—2019/9/16

参 加 者:5大学 15 名(学部学生 12 名、大学院生3名)

新潟大学, 東京歯科大学, 豊橋技術科学大学, 大阪大学, 岡山大学

### 2)研修スケジュール

9/7:サンフランシスコ空港着

オリエンテーション

9/8:講演会 シリコンバレーでの起業(US-Japan Forum 井手祐二氏)

講演会 世界を舞台にブラウザーの変革(VIVALDI Technologies CO 富田龍起氏)

9/9:サンノゼ州立大学訪問(キャンパス見学, 学生交流)

NeuroSky 社訪問

講演会 日米技術イノベーションの融合(US-Japan Forum 井手祐二氏)

講演会 日系移民講演(内田誠一郎氏)

9/10: Intel Museum 訪問

Google 社訪問

Apple 社訪問

JBC セッション(Japan Bio Community)

9/11: サンフランシスコ市内見学(ゴールデンゲートブリッジ, リンカーンパーク,  
戦争記念オペラハウス, ユニオンスクエア)

UC バークレー訪問(キャンパス見学, 工学部研究室訪問, 学生交流会)

9/12: スタンフォード大学訪問(キャンパス見学, 講義受講)

プロフェッショナルセッション

9/13: 日米未来フォーラム参加・発表

テーマ: The Future of Space Exploration

～50<sup>th</sup> Anniversary of the Moon Landing～

9/14: イノベーション研修 修了式

9/15: サンフランシスコ空港発

### 3) 日米未来フォーラムについて

2019年は月着陸50周年を迎えました。現在、世界的に宇宙に対しての研究開発が行われおり、今後さらに宇宙産業は発展していくでしょう。我々は今回「The Future of Space Exploration」をテーマに宇宙開発の将来について技術開発、産業創出、社会の進化、国際協力の4つのテーマに分かれて、各グループでディスカッションを行い、アイデアをまとめ発表致しました。

### 4) 研修を終えて

研修を通して、私にとって一番の変化は知見が広がったことでした。世界最先端の企業を目の当たりにしたとき、自分が社会のことを何も知らないと気が付きました。イノベーションという言葉を使いつつ意味はわかっておらず、製品開発から物流までの世の中の仕組み、そこに携わる人々や仕事内容を理解していませんでした。歯科という専門性が高い一方で視野が狭くなりやすい環境に自分が身を置いていると自覚しました。様々な分野への探求心が刺激されると同時に社会人として世界の動向に目を向ける大切さを意識しました。きっとこの意識は今後の診療や研究に役立つと思います。

そして、英語力が必要だと強く痛感しました。研修中、何回も現地の方々とディスカッションする機会がありましたが、自分の英語力不足のため、意見を伝えることができず、何度ももどかしい思いをしました。普段会えない方々とお話できるチャンスをみすみす逃してしまった事が今回1番の反省点です。これからのグローバルな社会に対応するため、世界規模の医療に目をむけるため、英語を勉強しようと思いました。

この研修で自分をより向上させるためのヒントに沢山出会えました。この貴重な経験を糧に今後より一層精進してまいります。

最後に今回研修への参加機会を与えてくださいました井出吉信学長、矢島安朝大学院研究科長、斎藤淳大学院教務部長、福田謙一大学院学生部長、US-JAPAN FORUM 井手祐二代表ならびに大学院関係の皆様、講座の皆様にご心より感謝申し上げます。



日米未来フォーラムでの発表



Google 社訪問



ゴールデンゲートブリッジにて

## 大学院入学説明会

令和元年9月25日(水)及び27日(金)の2日間にわたり、大学院入学説明会が開催されました。様々な施設で研修中の先生方に大勢参加していただき、各講座に熱く語っていただきました。その甲斐もあって、来年度の大学院希望者はこれまで最大になりそうです。

## 大学院3年次研究進捗状況報告会

令和元年10月7日(月)、8日(火)、9日(水)、16(水)日の4日間にわたり、大学院研究進捗状況報告会が行われました。大学院3年次34名が、これまでの



研究の進捗状況を発表し、分野の垣根を超えた大学院生達の活発な議論が交わされました。

## 大学院学生総会

令和元年12月4日(水)午後7時より、水道橋校舎本館13階会議室において、令和元年度大学院学生総会が開催されました。大学院の学生が主催する大学院セミナーを検討したらどうかななどの議論が交わされ、早速の2020年1月14日(火)にUniversity of Minnesota (Dept. TMD and Orofacial Pain) の Dental Fellow、Beth R. Morrey 先生による大学院セミナーが学生主催で開催されました。後藤多津子教授に同時通訳をお願いし、また活発な質疑応答も行われ、多くの大学院生が有意義な時間を過ごせました。

## 編集後記

大学院だより23号は、2名の大学院生が渡米した Elective Study 中心の編集となりました。3年の深澤先生、2年次の國奥先生、お2人とも多くの人々と交流し、とても楽しく、有意義な時間を過ごしたようです。Elective Study への参加は、一生忘れられない貴重な経験です。来年度も多くの大学院生の参加を期待しています。

(福田 記)